

第2回ワークショップ概要

■目的

- ・人口減少による街のコンパクト化、学校の統合化・複合化を理解し、新たな学校のスタイルを創造する。
- ・学校利用者を対象に、学校の多機能化について考える機会とし、意見を収集する。

■内容

- 1：今までの三崎小学区内での生活で最高に楽しかった1日を書き出す。
→今までの生活で、どのような場所が楽しかったのかを再認識する。
- 2：最高に楽しかった1日で移動するルートを立体マップに毛糸を這わせ、見える化する。
→1日の移動するルートを見える化することで、行動範囲を把握する。
- 3：最高に楽しかった1日でしたことができる新しい学校をストローや折り紙で作る。
→様々な機能を持つ新しいスタイルの学校を考えることで、学校の多機能化について学ぶ。

■開催日時・会場

- ・2018年8月23日（木）
- ・三崎小学校 メディアルーム

■参加人数

- ・児童：男児7人、女児8人（合計15人）
- ・保護者：男性0人、女性3人（合計3人）
- ・スタッフ：市役所2人、大学6人、学校教員6人（合計14人）

ワークショップの1日の流れ

①公共施設レクチャー

豊明市の公共施設の多機能化についてのレクチャーをしました。



②最高に楽しかった1日を見える化しよう！

自分たちが街のどんなところで遊び、
どんなことが楽しいと思うのかを
思い出し、移動するルートを地図に
書き出していました。



思い出した最高に楽しかった1日で
通るルートを見える化された立体
マップが完成しました！



地図に書き出したルート通りに
立体マップに毛糸を這わせていき、
ルートを見える化しました。



③わくわくする学校を作ろう！

学校を作るための骨組みを
ストローで作っていききました。



最高に楽しかった1日で遊んだ
ことができるようなわくわくする
学校をイメージしながら、骨組み
を組み立てていききました。

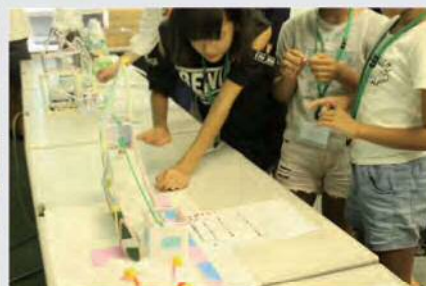


骨組みを組み立てて作った学校に
壁を貼ったり、装飾をして、
自分だけの学校が完成しました！



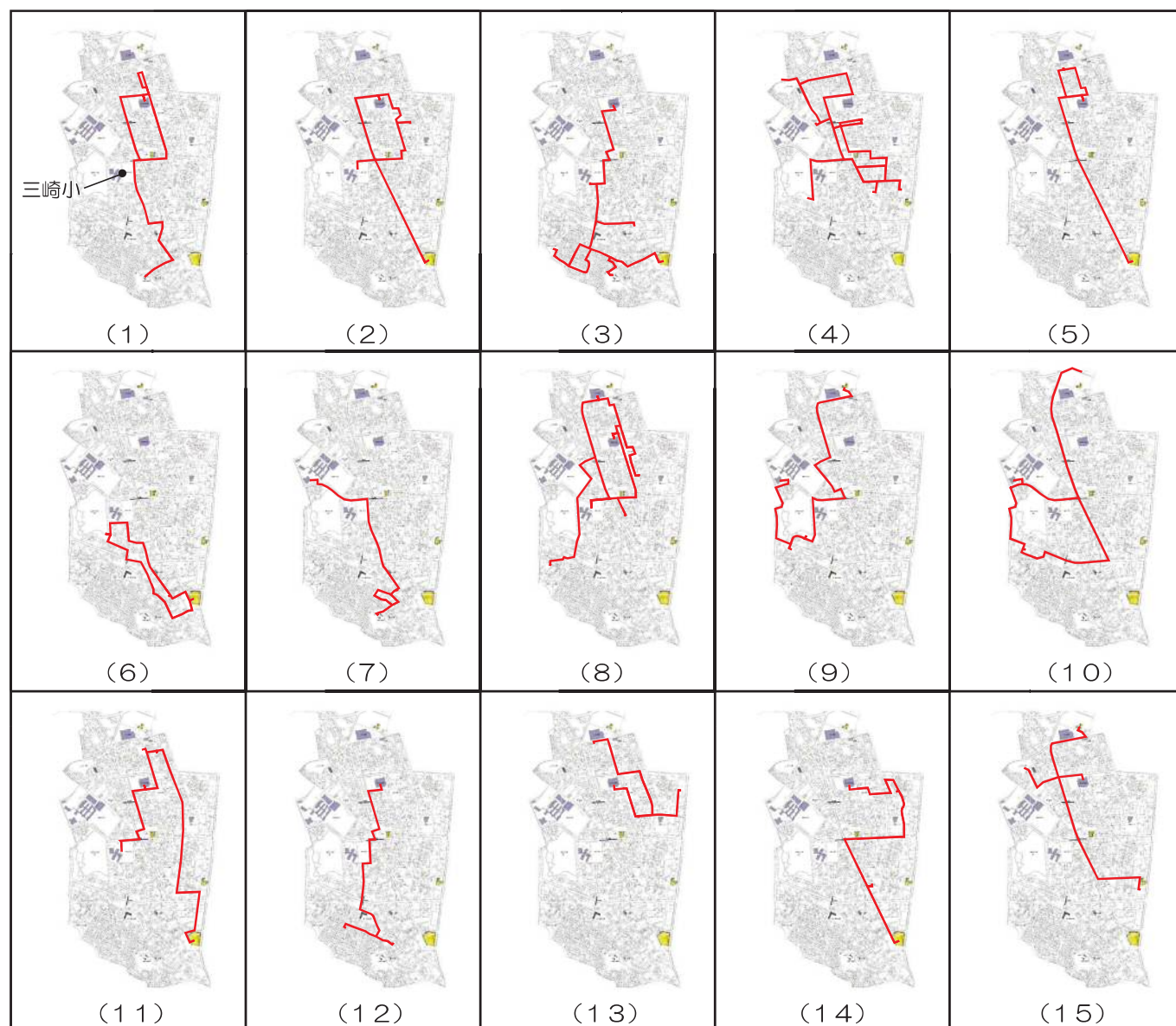
④市長への発表会・展示会

作った学校を市長に発表し、感想をいただきました。
その後の展示会で気に入った作品にいいね！シールを貼りました。



最高に楽しかった1日のルートまとめ

・児童15人が書き出した最高に楽しかった1日の通るルートを抽出しました。

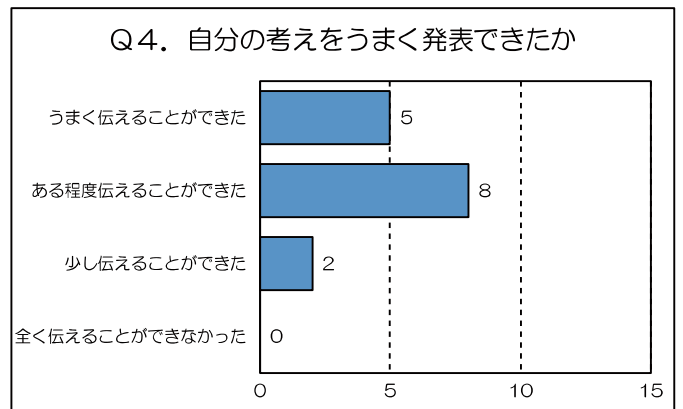
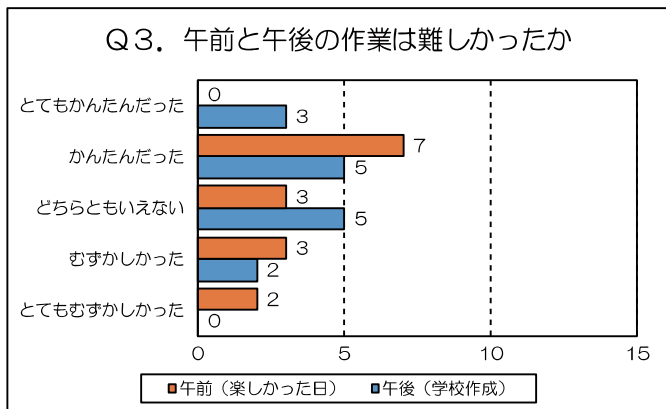
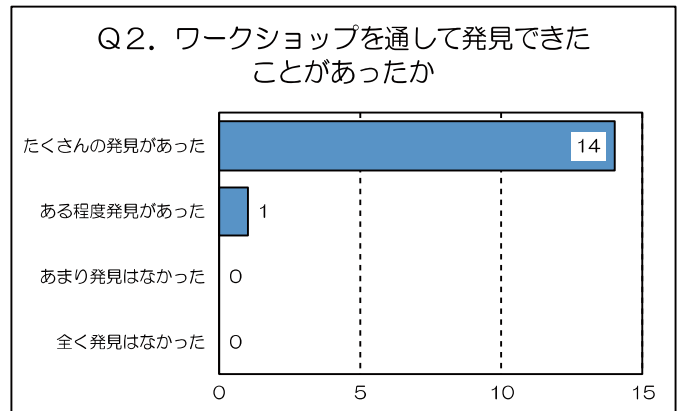
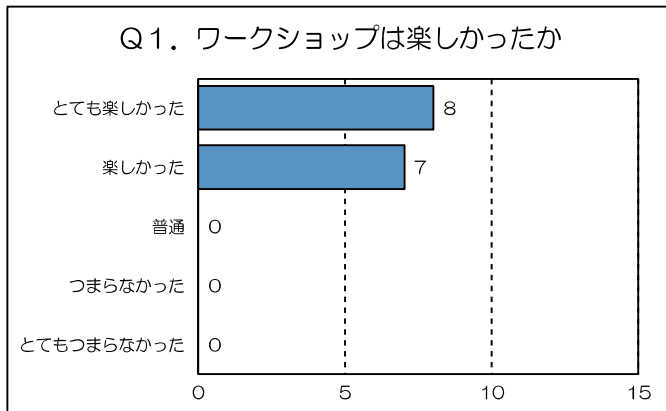


(まとめ)

- ・福祉体育館に訪れる児童が多く、15人中10人の児童が訪れていました。
理由としては、福祉体育館には児童館があり、卓球などで遊べることが挙げられます。
- ・その他にはピアゴや公園、友達の家などを訪れている児童も多く見られました。
- ・授業終わりを想定した場合、家に帰った後あまり外に出歩かない児童が多数でした。
→福祉体育館などの機能が学校にできれば、学校でできることが増え、児童もより活発になるのではと考えられます。

アンケート結果

ワークショップ終了後に、児童15人と保護者3人にアンケートを配布し、回答していただきました。以下のグラフは児童のみのアンケート結果になります。



Q1,Q2 ではほとんどの児童が楽しかった、たくさんの発見があったと回答しました。

Q3では、午前の作業のほうが少し難しかったようでした。

Q4 では、ほとんどの児童が自分の考えをある程度伝えることができたと回答しました。

〇参加した児童の声

- ・ 本当に僕たちが考えた学校が実現されたら嬉しい。
- ・ 学校にケーキ屋さんを作って欲しいと思った。
- ・ いろいろな学校のアイデアがでており、学校がよりよくなればいいと思った。

〇参加した保護者の声

- ・ 未来の学校づくりで、子供たちの理想や夢、考えがあって発想力に驚かされました。
- ・ 豊明についていろいろ考えたり気付かされました。
- ・ 大人ではあまり考えないような学校がたくさんあって発表を聞くのが楽しかったです。